

第111期 第2四半期報告書

2014年4月1日▶2014年9月30日

ニチバン Life

Contents

株主の皆様へ	1
セグメント情報	3
ニュース/CSR活動	5
連結財務ハイライト	6



ロイヒつぼ膏®
25th
Anniversary
発売25周年





代表取締役社長

堀田直人

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2014年4月1日から2014年9月30日にいたる第111期（2015年3月期）第2四半期報告書（ニチバンLife）をお届けするにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

収益基盤の安定化と 確実な成長に向けた 戦略を推進

第111期第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融政策の推進により、企業業績や雇用情勢に改善が見られるなど緩やかな景気回復基調にあります。消費税率引き上げに伴う駆け込み需要反動の長期化、円安による原材料価格の上昇など、当社事業を取巻く経営環境は依然として厳しい状況で推移しました。

このような経済情勢のなか、当社グループでは中長期経営計画【NB100】における中盤3ヶ年計画「Stage2」を推進しています。収益基盤を確かなものにするとともに将来に向けた新たな「成長戦略」を進めるに当たり、当期は3つのテーマ「大型開発品の創出」「大型設備投資の着手」「海外新規市場の開拓」に積極的に取り組んでまいりました。その結果、全体の売上高は189億9千1百万円と、前年同期に比べ2.2%の減収、損益面においては、経常利益は前年同期比19.0%増の7億5千3百万円、四半期純利益は前年同

期比33.1%増の4億8千5百万円となりました。

メディカル事業におきましては、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動も発生しましたが、鎮痛消炎貼付剤「ロイヒ」シリーズに新たに冷感タイプ「ロイヒつぼ膏[®]クール」を発売、救急絆創膏「ケアリーヴ[®]」もテレビCM放映とあわせ、ドラッグストアを中心に販売促進の取組みを積極的に行いました結果、ヘルスケアフィールドの売上は好調に推移しました。また、医療機関での感染予防や安全性への意識の高まりを受けて、低刺激製品・感染予防対策製品の普及を継続して行いました結果、採用も拡がり、医療材フィールドの売上も堅調に推移しました。

テープ事業におきましては、文具事務用品市場拡大に向けてパーソナル向け新製品の販売に注力しましたが、主力製品の「セロテープ[®]」などが消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動影響を大きく受け、オフィスホームフィールドの売上は非常に厳しい状況となりました。また、産業用テープ市場では、食品関連分野とマスキング分野での拡大に向け需要家への製品提案営業活動を継続しましたが、販売先業界の景気回復は緩慢であり、工業品フィールドの売上も伸び悩みました。円安の継続による輸入原材料価格の高止まりも続いてはありますが、主力製品の利益性改善を強力に進め、フィールド事業の再構築を推進しております。

海外事業におきましては、この7月より初の海外駐在員事務所をタイ・バンコクに設立しました。ターゲットとするアジア各国へのメディカル製品展開アプローチも順調に進み、徐々にではありますが新規市場での実績も上がってきております。円安の後押しとともに既存のアジア・欧州を中心とするテープ製品市場の拡大も加わり、売上は好調に推移しました。

第111期下半期の取組みについて

2014年10月からの下半期につきましては、消費税率引き上げ後の国内経済の持ち直しが期待されるところですが、円安の継続による製品原材料コストの負荷継続や、国内製造業の国際競争力の低下もあり、当社を取巻く環境は予断を許さない状況にあります。

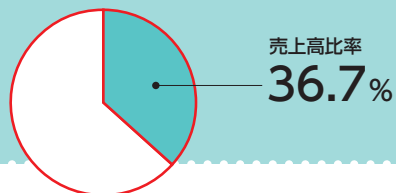
このような経営環境のなか、当社グループは中長期経営計画【NB100】Stage2目標の達成に向けて、継続して「増収・増益基調」の維持と確実な成長を目指してまいります。「高い成長を見込む分野への経営資源の集中」と「基盤となる事業の効率化・安定化」による売上拡大と経営環境に左右されない収益構造の強化による利益確保を目指して取組んでまいります。

また、環境への貢献活動として今年も【ニチバン巻心ECOプロジェクト】を11月より実施しております。使い終わった粘着テープの巻心を回収し、段ボールへのリサイクルを行い、その回収資源利益をマングローブ植樹に活用するというプロジェクトです。このプロジェクトも今回で5回目となりますが、一般消費者の皆様、全国の小学校、官公庁などの団体様、大手ユーザー様まで前回以上に幅広く多くの参加をいただけるよう全社を挙げて展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの業績向上にご期待いただき、引き続きご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

M E D I C A L

メディカル事業



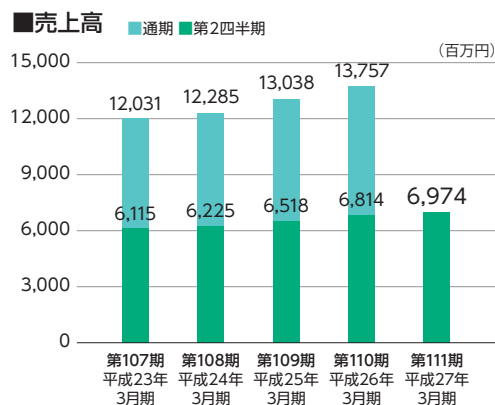
営業概況

ヘルスケアフィールド

ドラッグストアを中心とした大衆薬市場を対象とするヘルスケアフィールドにおきましては、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動も発生いたしました。鎮痛消炎貼付剤「ロイヒ」シリーズから冷感タイプの「ロイヒつば膏[®]クール」を新たに発売し、救急絆創膏「ケアリーヴ[®]」シリーズのテレビCM実施など、積極的な販促活動を展開いたしました結果、売上は順調に推移いたしました。

医療材フィールド

医療機関向け医療材料市場を対象とする医療材フィールドにおきましては、消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動の影響もありましたが、感染予防と安全な医療に貢献する極低刺激性サージカルテープ「スキナゲート[®]スパット」や、高機能ドレッシング製品「カテリープラス[®]」の普及を継続して行いました結果、採用も拡大し、売上は堅調に推移いたしました。



TOPICS

ロイヒつば膏[®]発売25周年

鎮痛消炎貼付剤「ロイヒ」ブランドは、1932（昭和7）年に発売した貼り薬“ロイヒ膏”からはじまりました。この歴史ある「ロイヒ」の名前を受け継ぎ、1989年に誕生したのが「ロイヒつば膏[®]」です。温感刺激の効き目感と、小さく丸い形でピンポイントに貼れる使いやすさが特長で、発売から25周年を迎え

る現在まで売上を伸ばし続けています。他にも、面積がレギュラータイプの約2倍の「ロイヒつば膏[®]大判タイプ」や、フェルナビクを配合した温感シップ剤「ロイヒ温シップ[®]フェルビナク」などをラインアップしています。これからも「ロイヒ」ブランドを通して、皆様の健康で快適な生活を支えてまいります。

ロイヒの歴史



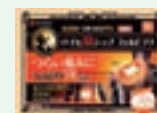
1932年
ロイヒ膏
(ロイヒプラスター)
発売



1989年
ロイヒつば膏[®]
発売



2009年
ロイヒつば膏[®]
大判タイプ
発売



2012年
ロイヒ温シップ[®]
フェルビナク
発売

新製品情報

つらい痛みにスーッと効く

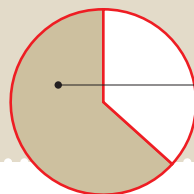
ロイヒつば膏[®]クール

『ロイヒ』ブランドでは初めてとなる、冷感タイプの鎮痛消炎プラスター剤です。冷感刺激による血行促進と、鎮痛消炎効果により、肩こり・腰痛などを緩和します。小さく丸い形状で、一人でも狙ったところに貼りやすく、はがれにくいのが特長です。



T A P E

テープ事業



売上高比率
63.3%

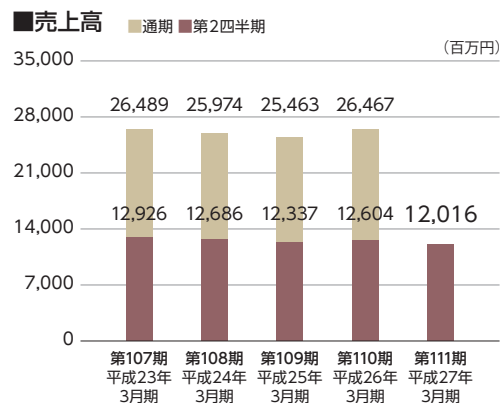
営業概況

オフィスホームフィールド

文具事務用品業界を対象とするオフィスホームフィールドにおきましては、パーソナル向け需要をターゲットとして、新製品「セロテープ®ペンギンカッター」や「布粘着テープ ディズニー」、「クラフトテープ ディズニー」のシリーズ展開を進め、新規売上の創出を図ってまいりましたが、「セロテープ®」や両面テープ「ナイスタック®」をはじめとするオフィス需要の主力製品群が、消費税増税の反動の影響を大きく受け、非常に厳しい結果となりました。

工業品フィールド

産業用テープ業界を対象とする工業品フィールドにおきましては、食品関連分野とマスキング分野での拡大に向け需要家への製品提案営業活動を継続いたしました。また、包装用の主力製品である「セロテープ®」、「クラフト粘着テープ」の利益性改善の取組みを進めてまいりましたが、消費税増税の反動の影響を受けて売上が厳しい結果となり、利益性改善の効果を十分に発揮することができませんでした。



新製品情報

カラフルでキュートなテープカッター

セロテープ®ペンギンカッター

セロテープ®動物シリーズ第二弾として、ペンギンをモチーフにしたテープカッターを発売しました。縦置きできるデザインで、飾って楽しむことができます。カッター部分はプラスチック製で直接指にふれにくい設計なので、小さなお子様にも安心です。



TOPICS

埼玉工場のご紹介

埼玉工場では、包装用、塗装用、電気用などの産業用材向け粘着テープおよび粘着シートを生産しています。今年度は新たな生産設備を導入し、生産能力の増強をすすめるとともに、高機能な新製品の開発に取り組んでいきます。



●埼玉工場で生産している製品の一部



布粘着テープ



クラフト粘着テープ



マスキングテープ

タイ・バンコクに 駐在員事務所を開設

2014年7月、タイ・バンコクにある合併会社UNION THAI NICHIBAN CO.,LTD.内に駐在員事務所を開設しました。本事務所は、東南アジア地域におけるメディカル製品の販売拡大とテープ製品の営業強化を目的に、情報収集や市場調査等の活動を行う拠点となります。

現在推進中の中長期経営計画【NB100】では、海外事業の売上比率を現在の5%前後から、2018年度までに10%以上に引き上げることを目指しています。当社では、高い経済成長が期待されるアジア各国で、高機能で高品質なメディカル製品による新規市場の開拓に取り組んできました。今回開設した駐在員事務所は、成長戦略を進めるうえで重要な拠点と位置づけています。



UNION THAI NICHIBAN CO.,LTD.



開所式の様子

第5回 ニチバン巻心 ECOプロジェクト

巻心受付期間

2014年11月1日 土 ~2015年1月30日 金

まきしん
テープの巻心を集めて
緑の地球を守ろう!



使用済み粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用する活動「ニチバン巻心ECOプロジェクト」を来年1月まで実施しています。本プロジェクトは、各種粘着テープの紙製の巻心をダンボールヘリサイクルし、その際に生じる回収資源利益金と当社からの支援金で、マングローブ植樹事業を支援する活動です。毎年多くの皆様にご賛同をいただき、プロジェクト開始から回収した巻心は累計100万個、植樹したマングローブは累計7万本を超えています。

応募等の詳細は、
特設WEBサイトをご覧ください。

<http://www.nichiban.co.jp/project/makisin-eco/>

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	当第2四半期 平成26年9月30日現在	前期 平成26年3月31日現在
[資産の部]		
流動資産	29,910	30,172
現金及び預金	10,672	10,610
受取手形及び売掛金	11,848	12,656
たな卸資産	6,032	5,603
その他	1,357	1,302
固定資産	17,336	17,041
有形固定資産	13,143	12,994
無形固定資産	179	207
投資その他の資産	4,013	3,839
資産合計	47,247	47,213
[負債の部]		
流動負債	12,873	12,945
支払手形及び買掛金	7,385	7,702
その他	5,488	5,243
固定負債	8,897	8,719
長期借入金	2,000	2,000
退職給付に係る負債	3,254	2,958
その他	3,642	3,761
[純資産の部]		
純資産	25,476	25,548
株主資本	25,475	25,575
その他の包括利益累計額	0	△27
負債純資産合計	47,247	47,213

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	当第2四半期 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	前第2四半期 平成25年4月1日～ 平成25年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,169	1,044
投資活動によるキャッシュ・フロー	△752	△701
財務活動によるキャッシュ・フロー	△361	△363
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	0
現金及び現金同等物の期首残高	10,832	9,879
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,893	9,860

連結損益計算書

(単位: 百万円)

	当第2四半期 平成26年4月1日～ 平成26年9月30日	前第2四半期 平成25年4月1日～ 平成25年9月30日
売上高	18,991	19,418
売上原価	13,535	13,997
売上総利益	5,455	5,420
販売費及び一般管理費	4,718	4,800
営業利益	737	620
営業外収益	84	80
営業外費用	68	67
経常利益	753	632
特別利益	31	0
特別損失	22	45
税金等調整前四半期純利益	762	587
法人税等	276	222
少数株主損益調整前四半期純利益	485	365
四半期純利益	485	365

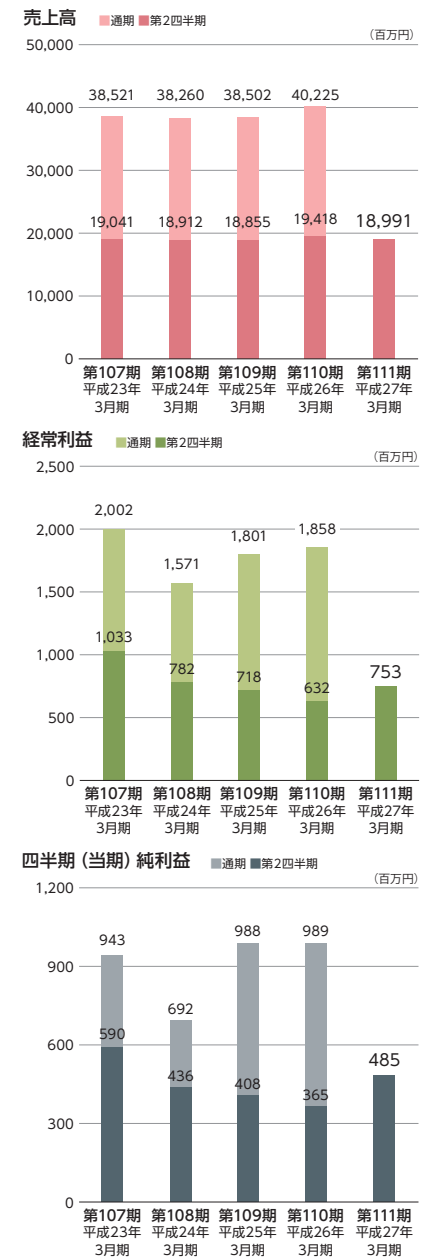
POINT① 連結貸借対照表

退職給付に関する会計基準の改正に伴う影響額を利益剰余金に加減したことにより、前期に比べ純資産は減少し、退職給付に係る負債は増加しております。

POINT② 連結損益計算書

売上高は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響により、前年同期比2.2%の減収となりましたが、営業利益は減価償却方法を従来の定率法から定額法に変更したことによる影響および経費削減施策の実施等により、前年同期比18.8%の増益となりました。

売上高／経常利益／四半期(当期)純利益



財務に関する詳しい情報は、当社ホームページ <http://www.nichiban.co.jp/ir/> をご覧ください。

(2014年9月30日現在)

会社概要

創業	1918(大正7)年1月
本社所在地	〒112-8663 東京都文京区関口二丁目3番3号
資本金	54.51億円
従業員数	750名

役員

代表取締役社長	堀田直人	常勤監査役	歌橋正明
代表取締役専務取締役	須藤孝志	常勤監査役	芹澤和弘
取締役執行役員	鈴木達也	監査役	清水俊行
取締役執行役員	高橋健征	監査役	横井直人
取締役執行役員	酒井寛規		
取締役執行役員	山田隆文		
取締役執行役員	小久保武政		
取締役執行役員	伊藤暁		
取締役執行役員	原秀昭		
取締役	清水與二		

(注)取締役のうち清水與二氏は、社外取締役、監査役のうち清水俊行、横井直人の両氏は、社外監査役であります。

株式の状況

発行可能株式総数	140,000,000株
発行済株式の総数	41,476,012株
株主数	5,213名

大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
大鵬薬品工業株式会社	13,516千株	32.61%
ニチバン取引先持株会	2,668	6.44
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,069	4.99
株式会社みずほ銀行	2,069	4.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,437	3.47
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	1,080	2.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	985	2.38
クレディ・スイス・セキュリティーズ(ヨーロッパ)リミテッド ビービー オムニバス クライアント アカウ	980	2.36
シービーエヌワイ デイエフエイ インターナショナル	627	1.51
スモール キャップ バリュー ポートフォリオ	577	1.39
株式会社りそな銀行		

(注)持株比率は自己株式(25,277株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の 配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日) なお、今回の中間配当につきましては、当期の 結果を踏まえ見送ることいたしました。
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 (http://www.nichiban.co.jp) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告によ る公告をすることができない場合には、日本 経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に 口座をお持ちの場合	特別口座の場合
お問合せ先		みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324
お取扱店	お取引の証券会社 になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
	未払配当金のみ、株式会社みずほ銀行 全国本支店でもお取扱いたします。	
ご注意	未払配当金の支払、 支払明細発行につい ては、右の「特別口座 の場合」のお問合せ先 までご連絡ください。	単元未満株式の買取以外の株式 売買はできません。 電子化前に名義書換を失念して お手元に他人名義の株券がある 場合は至急ご連絡ください。

株主優待制度について

【目的】

株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社製品に對する一層のご理解とご愛顧をいただき当社株式への投資魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加促進を図ることを目的としております。

【内容】

- ①対象となる株主様／毎年9月末の当社株主名簿に記載された株主様のうち、1単元(1,000株)以上を保有する株主様を対象といたします。
- ②贈呈内容／年1回、対象株主様お1人につき3,000円相当の当社新製品を中心とした「製品詰め合わせ」を贈呈させていただきます。
- ③贈呈時期／毎年11月中旬頃を予定しております。

贈呈内容の例



ニチバン株式会社

〒112-8663

東京都文京区関口二丁目3番3号

電話：(03)5978-5601

<http://www.nichiban.co.jp/>

®は登録商標です。

IRニュース メール配信のご案内

適時開示、決算報告などのIR情報や新製品などの最新情報を、電子メールでタイムリーにお知らせいたします。配信をご希望の方は、当社ホームページ「株主・投資家情報」の「IRニュース メール配信登録」よりご登録ください。

http://www.nichiban.co.jp/ir/ir_news/

FOR BETTER BEING
いつも笑顔でいたいから——ニチバン

